【健康経営戦略マップ】

作成年：2025年10月

健康投資

様々な効果に関連する健康投資

- 産業保健スタッフ体制の整備と更なる充実
- 健康管理システム全般の整備（更新、保守）
- 定期・特殊健康診断、がん検診等の実施
- 経営層による健康経営に関する定期的な経営会議の開催
- 安全衛生委員会での健康経営に関する施策検討
- 産業保健スタッフの教育と質の向上に関する学会や研修参加
- 健康保険組合による健康アプリの提供と健康イベントの実施
- 労働組合による健康増進支援金制度の活用と健康イベントの実施

ハイリスクアプローチ

- ハイリスク者（ⅠA～ⅡA）の事後フォロー強化
- 特定保健指導実施　30代内製化

職場取組・環境改善

- 職場別健康レポート配布
- 健康増進活動部門宣言、健康推進委員による職場取組発表・表彰
- 構内全面禁煙・禁煙プログラム推進
- がん検診受診推進・女性がん検診推進
- ストレスチェック結果による集団分析・職場改善、管理職教育1回/年
- 社内E-learningの実施、各種健康に関する検定の受検推進による健康リテラシー向上

働き方向上・両立支援

- 過重労働対策
- 働き方改革・ワークライフバランス推進
- 仕事と育児または介護、治療と仕事の両立支援
- プレコンセプションケアから更年期まで生涯を支える女性支援
- 高齢者に特化した安全・健康教育の充実

健康投資の効果

健康投資施策の取組み状況に関する指標	従業員等の意識変容・行動変容に関する指標	健康関連の最終的な目標指標
ハイリスク者事後フォロー	健康診断後精密検査受診率	従業員の心身の健康増進
特定保健指導実施率	運動習慣	従業員のパフォーマンス最大化
健康増進職場取組報率	朝食欠食率	
健康施策実施率	肥満率	
禁煙プログラム参加者数	喫煙率	ワークライフバランスの実現
がん検診予約会開催数	がん検診受診率	育児・介護・治療と仕事の両立
社内E-learning実施率	高ストレス職場数	
両立支援・女性支援教育実施率	平均月間所定外労働時間	

健康経営の浸透状況	方針実現のための体制・環境	サポート、組織的支援（POS）、WSC等
全社員健康教育健康経営浸透度アンケート回答率	健康経営推進会議の開催 健康経営エキスパートアドバイザー取得 保険者との連携・協議	ストレスチェック職場改善 働き甲斐調査

健康風土の醸成

目標年：2030年

KGI	健康経営の目標	健康経営の推進方針	経営方針
ハイリスク者15%減 従業員一人当たりの医療費5%減 従業員一人当たりのプレゼンティーイズム損失額10%減 高ストレス者10%減 総実労働時間5%減	従業員の健康度向上によるパフォーマンス向上	戦略的健康経営による社員の活力向上と健康職場つくり	『共生』 「世界の繁栄と人類の幸福のために貢献していくこと」をめざし、共生の実現に向けて努力を続ける

従業員の健康課題

1．肥満率の増加　※33.9%（2019年）35.8%（2025年）
2．肥満につながる生活習慣
※朝食欠食・運動不足・睡眠不足
3．高い喫煙率　※24.2%（2025年）

社会的価値

様々な社会問題の解決に向けて社会的使命を果たすこと

企業価値

従業員一人当たり固定費改善率の増加